

Be-News

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.115
2017 AUTUMN

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

Be-News

特集
人と人に見えてくる、
地域の未来



研究室訪問
学びのトビラ
クローズアップ別大生
卒業生インタビュー
こんにちは先輩!!
学園からのお知らせ

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／平成29年9月30日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-67-0101
禁無断転載

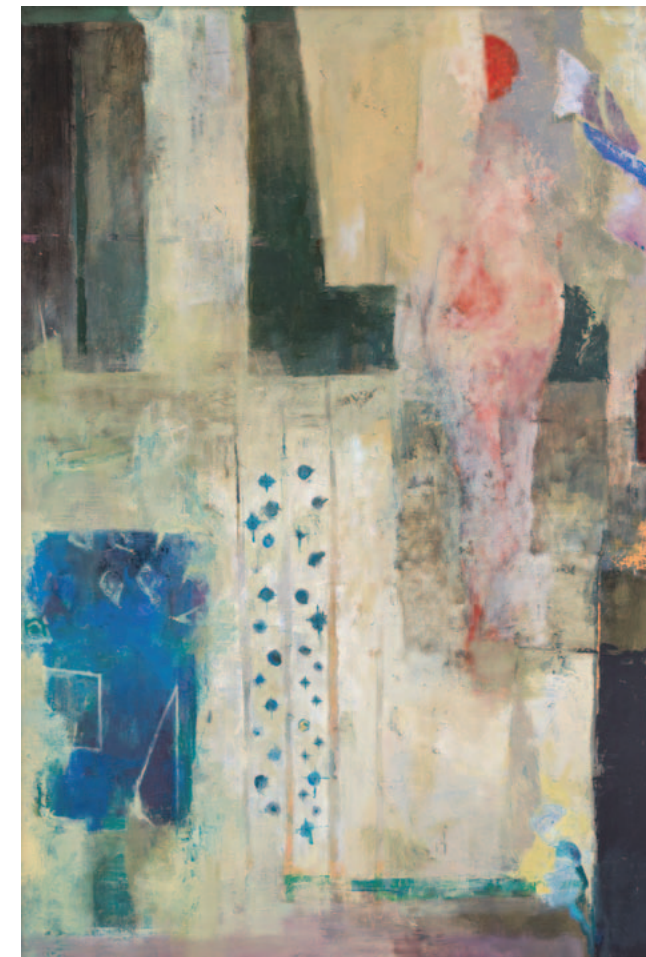


LINE@



真理はわれらを自由にする

Be-Museum



「偽名」

丸岡 あすか（国際言語・文化学科 研究生）

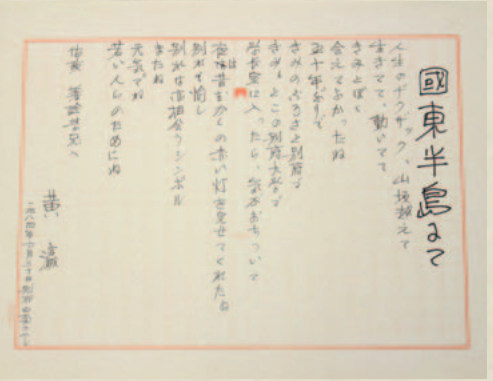
部屋の窓から光が漏れる。その光が体を包み、まるで光の一部になったかのように思わせる。

画面全体の調和と、形のない美しさを表現していきたい。

（F120号 油彩）



詩人・黄瀛氏と佐藤義詮



新18号館の「大学史展示室」に、中国人詩人黄瀛（こうえい）氏が本学創設者の佐藤義詮に捧げた直筆の詩がある。黄瀛氏は、大正時代、詩壇に彗星のごとく現れ、宮沢賢治や草野心平、高村光太郎と交友があった。中国人の父と日本人の母の間に生まれた黄瀛氏は、日中戦争が勃発すると、二つの祖国の間で数奇な運命を生きた。

本学創設者の佐藤義詮と黄瀛氏は、戦前、東京の御茶ノ水にあった「文化学院」の同窓であった。わずか一年の



黄瀛氏（左）と佐藤義詮（右）：中国四川省にて

付き合っていたが、交友は生涯続いた。黄瀛氏が、戦後長い幽閉生活の後、中国四川の重慶にある四川外語学院に日本語教師として迎えられたあと、両者は連絡を取り合い、そして黄瀛氏が五十年振りに来日した際には、別府大学に佐藤を訪ねている。

今年7月、黄瀛氏の教え子であり、法政大学国際日本学研究所の王敏教授に講演いただき、黄瀛氏が近代日中国において、偉大な功績を残していることを教えていただいた。今後、黄瀛氏の功績を顕彰するとともに、佐藤義詮との交友関係についても紐解いていきたい。

Be-News NO.115 CONTENTS

03	特集
	人と人に見えてくる、地域の未来
08	学科からのトピックス
12	キャンパスボイス
	テーマ／丸善ショップの人気商品調査
13	研究室訪問 学びのトビラ
	発酵食品学科 准教授 藤原 秀彦
14	クローズアップ 別大生
	佐藤 由貴 （文学部 国際言語文化学科3年）
	大城 優子 （短期大学部 初等教育専攻科2年）
16	Be-Recipe
	三色そばろ井
	別大生の御用達
	ルコニコ
17	サークル紹介
	ソフトテニス部
	写真部
18	卒業生インタビュー こんにちは先輩!!
	後藤 虎南さん （文学部 文化財学科卒業）
	小野 綾芽さん （短期大学部 食物栄養科卒業）
20	学園からのお知らせ
22	国際交流
	第46回別府大学国際セミナー
	台湾短期留学
23	インフォメーション

特集

人と人に見えてくる、地域の未来

社会がより便利になり、より複雑になるにつれて「人間関係」をめぐる問題が増えています。いじめやストレス、差別…。モノの時代からこころの時代へ。社会の価値観が大きなターニングポイントを迎えている今こそ、人を学び、地域の人に寄り添う「人間関係」について考えてみませんか？





Q4. どうすれば成功するの？

A 成功するまで、やり続けることです。

自分の夢を成功に導くには、あきらめずに努力し続けることです。そして、「生きているうちに成功にたどりつけばラッキー！」と考えましょう。ノーベル賞の受賞者は、結果が出るまで地道に研究を重ねてきた人ばかりです。テーマによっては自分の寿命が及ばず、後継者に託すこともあります。腫瘍ウィルス研究のダルベッコ教授は、教え子のテミンとボ

ルティモアと3人でノーベル生理学・医学賞を受賞しました。さらにポール・バーグ、ハートウェル、そして日本人の利根川進も彼の研究室に在籍し、いずれもノーベル賞を受賞し、そこには「夢への系譜」が脈々と流れているのでしょう。夢をあきらめるのではなく、夢を未来にどうつなげていくか……。挑戦し続けるなかで、考えてみてはいかがでしょう。



Q5. いい会社に入るためには？

A いい会社を選び、自分でいい会社にすること。

いい会社に入社したいのであれば、いい会社がどこなのか、しっかり探し当てるのが大切です。就職活動で、本来の会社の姿を徹底的に調べる学生は少ないようです。会社訪問で資料を渡され、人事担当者から表面的な話を聞いただけでは、会社の実像を掴めません。自分の人生を捧げるにふさわしい会社かどうか、先輩や地域社会の評判など可能な限り調べましょう。就職

活動は、学生にとっては理想の会社を確認する場であり、企業にとっては有用な人材を見極める場。お互い真剣勝負で取り組まないと、時間を浪費するだけに終わりがねません。さらにいい会社かどうかを確実にするには、入社後に、自分が責任をもって、いい会社にしていくことです。これは裏を返せば、どんな会社であっても、いい会社になるということです。

わたしたちは、競争社会の中で育ってきました。人と比べ、人よりいいことがよいこととされています。しかし、それが本当の幸せなのでしょうか？ ちよつと視点をずらしてみると、新しい幸せが見えてきます。

6つの問い 幸せについて考える

Q1. お金持ちは幸せなの？

A ないと困るけれど、必ずしも幸せの基準にはなりません。

お金は仕事の対価であったり、欲しいものを手にいれるための道具にすぎません。たくさん持っているに越したことはありませんが、アメリカのプリンストン大学で行われた研究によりますと、年収が7万5千ドルを超えると幸福度は頭打ちになるという結果が出ています。日本で同様の調査を実施しても、年収700万円前後が幸福度

の壁になるようです。ある程度の富を得ると、お金とは違う価値観が存在するのかもしれませんが。人によって価値も変わります。30万円の給料をもらっても不足すると考える人もいれば、たとえ10万円でもこの仕事がしたいという人もいます。これからは、お金の問題と幸せの問題を、別々にとらえる目線が必要になってきそうです。



Q2. 学校に行かなきゃいけないの？

A 自分から学校に行く「意味」を探してみましょう。

何か新しいことが学べて、仲間と楽しく過ごす時間ができるようなら、学校へは行ったほうがいいでしょう。そこに自分が求める「意味」がなかったら、特に学校へ行く必要はありません。しかし、考えてみてください。私たちは、「意味」を探すために、入学したのではないのでしょうか。いろんな人たちと出会い、様々な価値観を共有するために、入学したのでは

ないでしょうか。学校が何かしてくれるのではないかと、口をあんぐりと開けて待っているだけではなく、自分から「意味」を探しにアクションをしなければ、何も始まりません。自分から仕掛けていけば、学校側も違ったアプローチを提案してきます。そのせめぎ合いを経た末、社会人になって「生きていく力」が少しでも身についていれば、願ってもないことです。



Q6. 人生を決める選択って？

A 日々の小さな選択の上に成り立ちます。

人生には、大きな選択を迫られる転機が度々あります。どの大学に進学するか、どこの会社に入るか、この人と結婚していいのか……。しかし、それら大きな選択は、日々の小さな選択の延長線上にあるものです。それまでの小さな選択に悔いがなければ、自ずと決められます。仮に新しいスタートを切った後に「これでよかったのかな」と迷いが生じて、それまで

歩んできた道を振り返ってみて、確固たる自信があるならば、別の道を選びなおしても構いません。ただしその時点で、誰もが認める実力が伴っているか、あるいは自分自身が成長していると胸を張って言えるかどうか、それがなければ何度も同じ過ちを繰り返すことになります。つまり、常日頃から「本気」で人生を生きてきたかどうかなのです。



Q3. 勝ち組は幸せで、負け組は不幸せ？

A 「本当の幸せ」とは何かを考える時代です。

勝ち組、負け組という言葉が、流行語大賞にノミネートされたのは2006年でした。当時は年収など経済的側面から人を色分けしたのですが、どうやら最近の世界的な潮流では、その様相が変わってきているようです。たとえば、ようやく民主化が進み、経済的發展が始まったばかりのミャンマーが、なぜ「微笑みの国」と呼ばれるのでしょうか。かたや先進国で裕福な

生活でも家族関係は崩壊状態で、ほとんど会話をすることもない。かたや貧しくとも笑顔があふれ、何か問題が生じれば全員で解決に向けて協力する……。果たしてどちらが幸せなのでしょう。社会が多様化してきた今、「本当の幸せ」「本当の豊かさ」を考える時代に突入しています。勝ち組、負け組の尺度と、幸せ、不幸せの尺度も、考え直す時期なのです。



公認心理師対応カリキュラムが 平成30年度スタート

平成29年9月に公認心理師法が施行され、来年度より公認心理師の養成が始まります。公認心理師は、日本で初めての心理学の国家資格です。公認心理師は学部と大学院の6年間、国が定めた科目を取得することで受験資格を得ることができます。例えば、心理学的支援法、司法・犯罪心理学、心理実習などです。心理実習では、心理師が働いている現場で実践活動を行います。別府大学は、これまで臨床心理士の養成の経験があり、来年度入学生からは公認心理師のカリキュラムも行います。

公認心理師は、病院や学校のカウンセラー、児童養護施設や児童相談所等の相談員、裁判所や警察の心理判定員・プロファイラー、企業でのメンタルヘルスのコーディネーターなど多岐にわたります。本学の卒業生も心理カウンセラーとして県内を中心に活躍し、よい評価を得ています。

公認心理師は、悩んでいる人の困りごとと一緒に解決するやりがいのある仕事です。カウンセラーを目指す高校生の皆さん別府大学で学びましょう!!

社会がより便利になり、より複雑になるにつれて「人間関係」をめぐる問題が増えています。いじめ、不登校、学級崩壊、職場でのストレス、生きがいの喪失…。

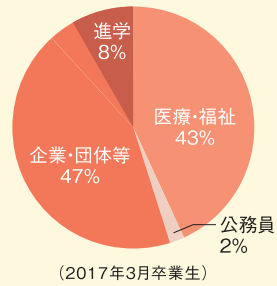
本学人間関係学科は、こうした人間関係をめぐる諸問題の解決策を探り、新しい人間関係の形を追求するために平成12年に誕生しました。

「心理」、「社会福祉」、「教育・生涯スポーツ」の分野において、社会における人間関係を多面的に考察し、地域社会の活性化や再生に携わる人材を育成しています。卒業生は、認定心理士や社会福祉士、精神保健福祉士などの資格を取得し、自治体や病院、社会福祉施設などで専門職として活躍しています。

取得可能な免許・資格

- 認定心理士
- 社会福祉士受験資格 (クラス人数制限有)
- 精神保健福祉士受験資格 (クラス人数制限有)
- 社会福祉主事任用資格
- 高等学校教諭一種免許状 (公民)
- 司書・司書教諭
- 公認心理師 (対応予定)

就職・進学状況



人間関係学科

みんなが一緒に過ごせる社会を真剣に考える



『 モットーは、 初心を忘れない 』

大学で現場経験が豊富な教授の話を聞き、“心のリハビリ”ができる医療ソーシャルワーカーを目指すようになりました。面談技術をはじめ大学で学んだことは非常に役立っています。キャリアも7年を越えましたが、患者さんは一人ひとり違うので、すべてわかった気にならず、個々にあったケアに努めています。「自分の力を過信しない」。これも学生時代に教授から学んだことですね(笑)。

活躍する卒業生



黒木記念病院(大分県別府市)勤務
社会福祉士

右／森野 早央里さん
人間関係学科 平成26年度卒業
(大分県立別府青山高校出身)

左／下山 未起さん
人間関係学科 平成20年度卒業
(大分県立四日市高校
(現宇佐高校)出身)

『 たくさんの 経験を積みあげる 』

障がいを抱える人たちの支えになる仕事をしたいと思い、別府大学で社会福祉の勉強をして国家資格を取得しました。もともと人と話をすることが好きだったので、職場では患者さんやご家族の方々の生の声を聞き、先生やスタッフと今後の生活について考える毎日です。様々な人生に耳を傾け、患者さんに寄り添って未来の設計図を描いていく仕事に、やりがいを感じています。

地域の人から



別府大学青年団は 地域の未来を 考える場

人間関係学科3年
菊岡 琢真
(屋久島おおぞら高校出身)

僕は地元・北九州で生活困窮者の自立支援に従事した後に入学したのですが、年上なので最初はなかなか友達ができませんでした。でも先生に勧められて別府大学青年団に参加してからは、学外の方も含め交流の輪が広がっていきました。まだ結成6年目の青年団ですが、学生だけで組織された青年団は日本初で唯一。ボランティアを通じて地域や世代を超えた交流が図れ、有意義な経験を重ねています。「おおいた青年交流祭」では約100名の参加者と大分の将来について徹底的に語り合い、地域について考える貴重な機会になりました。尊敬できる先輩や仲間もでき、かつて僕がやっていたホームレスの炊き出し活動に北九州までメンバーと駆けつけたりもしました。今の夢は、いろんな人たちが交流できる空間をつくること。お互い腹を割って地域について話し合い、そこを拠点に自分たちの思いを発信していきたいですね。



子どもたちから



別府BBS会の活動を通じて子どもたちから学ぶこと

国際言語文化学科2年 ※人間関係学科から転科
佐々木 祐佳
(福岡県立小倉南高校出身)

人間関係学科には別府BBS会という名のサークルがあります。BBSとは「Big Brothers and Sisters movement」の略で、その名のとおり“お兄さん”“お姉さん”として地域の子どものためにボランティア活動を行う全国ネットワークの団体で、私は別府BBS会の16代目会長を任されています。参加のきっかけは、ボランティアを通じてたくさんの人と関わり、自分の知識や経験の幅を広げたいと思ったから。小学生を対象にした寺子屋教室、九州全域のBBS会による「子ども未来サポート事業」の運営、「大分少年の船」への参加など、ただ楽しむだけでなく子どもの目線になって考えたり動いたりすることの難しさを学んでいます。今年5月からは上人小学校の交通安全ボランティアを始めました。横断歩道に立って通学する子どもたちと挨拶を交わすんですよ。校区の皆さんも私たちの顔を覚えてくださるようになり、地域社会との絆の深まりを実感しています。

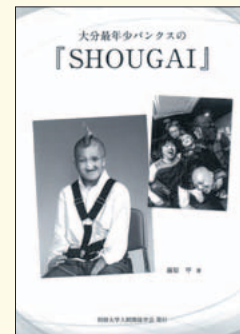


同級生から



この世を去った親友から 託されたもの

大学院 文学研究科 臨床心理学専攻1年生
市川 貴彬 (大分県 明豊高校出身)



藤原さんの口述から市川さんがまとめた「SHOUGAI」

大学時代の同級生の藤原甲くんとの出会いは、入学式で隣にたまたま座ったことが始まりでした。幼い頃から先天的な障がいのあった彼の中学と高校時代は、喧嘩に明け暮れる毎日だったそうです。大学で共に学ぶようになり、最初こそ周囲に攻撃的でしたが、親しくなった仲間には嘘をつかず、人と人のつながりを大切にする人

間でした。パンク音楽に傾倒していた彼は、いつも「格好だけのパンクスは好きじゃない」と怒っていました。障がいについては、「人間は一人ひとり違う。障がいも個性のひとつ」と話していました。彼が余命宣告を受けたのは卒業前の秋。このことは僕や家族など限られた人にしか告げず、残された時間を初めてのライブや作曲のレコーディングに費やしました。卒業パーティーで彼の横でギターを弾いた思い出は、一生忘れません。彼から教えられたことは、人を愛することの大切さ。音楽と共に託された宝物です。

大切なことは周りの人たちが教えてくれた

人とのつながりを築くことで、人生はより豊かなものになります。人と向き合い、地域や社会の中で多くのことを学んでいる在学生の声をお伝えします。

日本初? 里芋の親いもを有効利用したご当地バーガー大盛況!

国土交通省・大分県農政部・道の駅みえ・別府大学「地産地消プロジェクト」



プレゼン風景



親いもの大きさは子いもの約5倍

道の駅みえ春まつりでお披露目

地産地消プロジェクト
別府大学メンバー

食物栄養学科4年／三股薫、吉田千春、高畑亮太、篠崎さやか、志賀円、田中はる菜、津留悠貴子、松岡詩織、畑野歩奈、寺岡千夏、梅木美香、阿部桃子
食物栄養学科教授／高松伸枝

豊後大野市では、特産品として里芋が生産されています。通常里芋は、親いもから生まれた子いもが市場に出回っており、親いもは大型で粘りとアクが強いために有効利用されていません。そこで国土交通省、大分県農政部、道の駅みえ、別府大学が協働し、「地産地消プロジェクト」として、親いもを活用した商品化に取り組みました。

学生たちが講義や実習の合間を縫って試作し、関係者との試食会を重ねた結果、柔らかくゆでた親いもの揚げたてコロッケ、地元のとれたて野菜と特製ソースを、町

内パン工房のバンズではさんだご当地バーガー。おやコロバーガーが完成しました。



おやコロバーガー

4月23日に開催された道の駅みえ春まつりでお披露目となり、販売開始から40分で完売。季節に応じて旬の野菜に切り替わる道の駅みえのオリジナル商品として、今後も継続販売されます。

アイルランドのサマー・プログラムに参加

リメリック大学夏期語学研修

03.

国際言語・文化学科

国際言語・文化学科が海外語学研修を実施しました。英語・英米文学コース所属の11名の学生（1年生7名、3年生4名）が、8月13日から8月28日の日程で、アイルランド共和国・リメリック大学でのサマー・プログラムに参加し、集中的な英語学習に取り組みました。現地では、効率的に構成された授業で英語能力を高め、世界各国の学生達と友好を深めました。午後や週末には、アイルランドの自然遺産や文化遺産を訪ねたり、異文化理解を深めるイベントにも参加しました。参加者は



アデア城跡にて

ホームステイを行い、授業以外にも「生きた英語に触れる」貴重な経験を得ました。今後は長期間のプログラムの実現にも力を入れていきたいと考えています。

04 豪雨災害で被害を受けた文化財をレスキュー

史学・文化財学科

九州北部豪雨災害ボランティアに参加

7月の記録的な豪雨により、大分県西部の日田市では、家屋の倒壊だけでなく、文化財にも大きな被害が発生しました。本学科は、大分県教育委員会文化課からの要請により、考古学専攻の大学院生および学部生を中心に、教職員も参加して文化財レスキュー作業を行いました。国重要建造物群保存地区に選定されている豆田地区にある廣瀬資料館（儒学者廣瀬淡窓の生家）の床下に流入した土砂の掻き出しや、小鹿田焼きの里（国重要文化的景観選定および重要無形文化財指



廣瀬資料館の畳を上げて土砂を除去

定）では、唐臼（陶土を粉碎する臼）の水路に流入した土砂の掻き出し作業を行いました。現地の一日も早い復旧を祈るとともに、大学をあげて地域連携に取り組んでいきます。



大学史展示室



別府大学名誉教授荒金大琳先生の書



昭和30年代の正門



外観

佐藤義詮記念館(新18号館)「大学史展示室」オープン

01.

今年4月に新18号館が開館しました。これまでの博物館やアーカイブズセンターのあった旧18号館の機能を新たに発展させた建物です。本学創設者・佐藤義詮の教育理念や大学の歴史を明らかにし、広く別府大学の教育の進展に寄与することを願い、名称を「佐藤義詮記念館」としました。

「佐藤義詮記念館」2階には、この建学の精神に共感した教員と学生たちの熱い思いを込める「大学史展示室」が設置されています。初代学長佐藤義詮は西村伊作、与謝野晶子、与謝野鉄幹らの自由主義文化人によって創設された文化学院の第一期生でした。終戦直後、1946年に佐藤義詮は、文化学院以来の自らの夢と理想を実現するため、熱い情熱で、「真理はわれらを自由にする」とい



アーカイブズセンター



ラーニングcommons

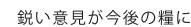
4F	ラーニングcommons、研究室、演習室
3F	アーカイブズセンター、学生サポートルーム、演習室
2F	大学史展示室、ギャラリーホール
1F	保健室、キャンパスショップ、スポーツ振興会役員室、文化会役員室

「大学史展示室」は、知られざる大学の歴史を紐解く場であり、その原点から大学の未来を考える場であると考えています。多くの方々の来訪をお待ちしています。

う建学の精神を掲げ、「別府女学院」を旗揚げし、これが大学の直接の前身となりました。佐藤義詮の夢に共感した学生は自由を謳歌し、学べる喜びを噛みしめ、教室を、書物を、筆を、そして友を求め、文芸を中心にひたすら学びの日を過ごしました。

05

6月21日、新18号館2階ギャラ
ーホールにおいて、人間関係学科
4年生による卒業論文中間報
告会を開催しました。これまで各
地域から代表者のみ発表していま
したが、今回から4年生全員によ
うポスターセッションに変更して実
施しました。



06

それぞれのテーマ研究を分かりやすく発表

賞は、別府市での現場調査とプレゼンテーションが優秀であったことが評価されました。すべての発表において、真剣に勉学に取り組む学生の姿が印象的でした。

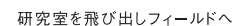
07

発酵食品学科の環境微生物学研究室では、フンドーキン醬油(株)のゆず園で木や土壌の管理実習を行っています。実習内容はゆず木の剪定、葉や土壌の施肥、土壌pH、硬度、電気伝導度の測定です。肥料は普通肥料ではなく、海洋生物や焼酎粕を混合したものの発酵産物です。

肥区と非
施肥区で
収穫量や
味がどの
ように違
うのか、
今から楽
しみにし
ています。



研究室を飛び出しフィールドへ



08

庭ですぐに実践できる料理との高い評価をいただき、また、食材や調理に関する質問も積極的になされ、料理の奥義を知ることができました。講習会補助学生も、授業では体験できないプロの料理人が作る家庭料理を学ぶ良い機会となりました。

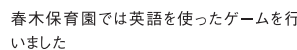
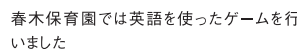


丁寧に指導する吉武先生



09

国際セミナー参加の外国人学生と初等教育科学学生が交流



10

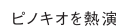
7月8日に、大分市植田公民館にて、保育科2年生がオペレッタ発表会を開催しました。

今年「表現活動の研究」の授業の一環として行っているもので、3ヶ月をかけて演技の練習や舞台装置・衣装等の制作に取り組みました。

目の前に繰り広げられるおとぎの
 世界に、「ドキドキわくわくした様
 子でした。また劇の合間には、手
 遊び歌をして楽しみました。最後
 に参加した子どもたちは、学生た
 ちが準備したオペレッタに関連す
 る手作り
 のプレゼ
 ントをか
 わいいた
 顔で受け
 取ってい
 ました。



ピノキオを熱演



11

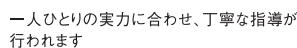
平成29年度専攻科福祉専攻
六学生から介護福祉士国家試
験(以下国試)が課せられます
実技試験は免除)。試験に合
格しなかった場合も5年間暫定
的に介護福祉士資格が与えら
れ、5年間介護関連の仕事に従
事すればその後も介護福祉士
資格を得られます。

と「総合問題」の受験準備を行うものです。一人ひとりの実力をみきわめ弱点科目の補強をしていきます。本年度の国試は平成30年1月28日。専任教員3名で全力指導をしています。

頑張れ!! 福祉専攻学生。



指導が





発酵食品学科 准教授

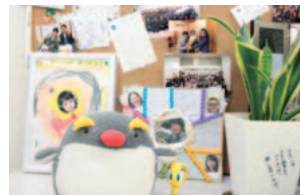
藤原 秀彦

Hidehiko Fujihara



プロフィール

1978年福岡県生まれ。2006年九州大学大学院生物資源環境科学府生物機能科学専攻博士後期課程修了。同年4月本学食物バイオ学科(現発酵食品学科)講師として着任。現在に至る。



卒業生からの寄せ書きなどが飾られた思い出コーナー

研究室訪問

学びのトビラ

Vol.07

別府大学の学びの最先端をレポートします。

目に見えない微生物の力に魅せられて

新種菌に恩師の名前が！

この研究を行なっているうちに、

私が専門にしているのは、微生物生態学です。環境中に生息している微生物がどのような環境で生き、何をし、進化しているかについて研究をしています。この研究テーマは私が大学在学中に古川謙介先生(現別府大学客員教授)から頂いたピフエール・PCB分解菌についての研究を発展させたもので、現在も古川先生の助言をいただきながら研究を進めています。具体的には、「分解菌が分解遺伝子をどうやって獲得し、環境に適応してきたのか」、「分解する化合物が環境からなくなると、分解遺伝子はどうなってしまうのか」、また、「その現象を引き起こす遺伝子・タンパク質は何か」ということです。分解菌の分解遺伝子をターゲットに、微生物の進化や退化についてパソコンを使った解析や、実際の実験による解析の両面から解析を進めています。当然研究は一人で行うことはできませんので、全国に散らばっている諸先輩方(古川先生の教え子)と共同研究をしています。

分解菌の遺伝子を探求

研究の醍醐味を学生と共に

39歳になった現在、微生物に関する研究を開始して20年近く経ちました。微生物について少しは詳しくなったつもりですが、新しい発見は尽きることがありません。そのなかで、やはり自分のオリジナルのアイデアが生まれ、研究によりそれが正しいと証明できた時は、難しいパズルが完成した時のような感動を覚えます。研究は、結果が出ずに苦しい時も多いですがその感動を味わうために研

大変感慨深いことがありました。30年以上研究室でつかっていた Pseudomonas pseudocaligenes KF707 株(シュードモナス シュードアルカリゲネス)という菌が新種であることがわかったのです。そこで発見者である古川先生にあやかり P. furukawii KF707(シュードモナス フルカワイイ)に名前を変更し、今年のGWに新種登録のための論文を投稿しました。KF というのは当然、古川謙介先生のイニシャルですので、二重に古川先生のお名前が入った菌名が誕生したのです。教え子にとってこれ以上誇らしいことはありません。

～ Other sides of Hidehiko Fujihara ～

高校と連携した出前実験。酵母を使ったアルコール発酵実験で、生物と化学の両方の知識を駆使する実験を行いました



自宅の庭で採れた夏野菜です。毎日収穫しても食べきれないほどの量が採れます。3人の子どもたちも大好きで、収穫したらすぐに洗ってかぶりついています



フンドーキン醤油のゆず園の管理を行っています。慣れないフィールドワークですが、学生たちといひ汗を流しています



研究室の七夕飾り。願い事は「刺激的な1年に」

研究者を続けていると言っても過言ではありません。今は大学教員として、学生の皆さんと一緒に大学で勉強し研究することです。そのような感動を共有したいと思い、日々を過ごしています。

Campus Voice section featuring four students (田邊 昭斗, 小園 活人, 東 龍浩, 倉本 夏那子) and their favorite items and campus life tips.

Campus Voice

テーマ ちょっと、聞かせて♪別大生に突撃インタビュー

丸善ショップの人気商品調査

今年の4月から別府大学に新たに仲間入りした「丸善ショップ」。別大生ご用達のお店で、どのような商品が購入されているのか別大生に直撃しました！

Interview with 首藤 千明 (Kumamoto University) about favorite items at Maruzen Shop.

多くのご要望にお応えて「一番身近なコンビニ」として生まれ変わりました。皆さんが常に楽しい商品と出会えるよう、スタッフ一同頑張っています。タイムサービスのお買得品が見つかるかも!? 夕方6時まで営業しています。丸善ショップ・坂井さん



Interview with 木村 理央 (Kumamoto University) about favorite items at Maruzen Shop.

地元沖縄で教員と剣道のコーチ、 文武両道を目指す！

小学校教員を目指す大城優子さんは、専攻科で勉学に励みながら剣道部に所属(今までの専攻科進学者で初)しており、文武両道に励んでいます。地元沖縄にある剣道クラブで、子どもたちと一緒に稽古に励んだ思い出を楽しそうに語ってくれた大城さん。沖縄の子どもたちと、未来を一緒に歩もうとしています。

本学に進学した理由は？

教員免許状取得ができ、小学校2年生から習い始めた剣道を続けられる大学を探していて、初等教育科に入学しました。初等教育科では小学校教諭二種免許状が取得できますが、さらに上を目指し、小学校教諭一種免許状を取得するため、専攻科に進学しました。

専攻科での勉強はいかがですか。

初等教育科在籍時と比べると大変ですが、模擬授業や教材研究、指導案の作成をしているときに、だんだん身についていると実感しています。講義が少人数で行われるので、先生方にしっかりと指導してもらえ、分かりやすいです。教員採用試験のメインとなる模擬授業が多くなっているので、採用試験に向けてより実践的になっています。

小学校2年生から剣道を習い始めたキッカケはなんですか。

兄が剣道を習い始めたのがキッカケでした。私の周りの友達も通い始めたため、私も習い始めました。兄が他の武道を選択していたら、私は剣道をしていなかったと思います。でも、中学で個人優勝、高校で団体優勝をしたので、剣道を続けていてよかったと思います(笑)

学業と剣道を両立して頑張っていますが、 どういった工夫をされていますか。

剣道の練習で時間が取られる分、限られた時間の中で集中して勉強に励んでいます。初等教育科在籍時は剣道に力を入れていましたが、今は教員採用試験に向けて勉強に重きを置いています。勉強も剣道も自分が選択した道だからこそ、両立できているのだと思います。

今後の目標を教えてください。

地元沖縄の小学校で教員になることを目指しています。子どもたちから悩みなどを打ち明けてもらえるような教員になりたいです。学校に来ることを楽しく感じてもらいたいです。剣道も続け、クラブで子どもたちの指導にあたりたいと思っています。

短期大学部
専攻科 初等教育専攻2年

大城 優子

(沖縄県立那覇高校出身)



休日は同期と遊んだり、ご飯を食べに行ったりしています



練習時に着用する防具です

目指すは、キラリと光る 学校司書！

司書課程を受講している人たちが集まっているサークルFOBUL(フォーブル)。
そのFOBULで部長を務め、サークル活性化のために新しい挑戦を始めている佐藤由貴さんを紹介します。

この学科に入学した理由は？

司書の資格取得を目指していて、近代文学や日本語学に興味があり「日本語学」と「日本文学」が学べる国際言語・文化学科に入学しました。本はジャンルを問わず幅広く読みますが、最近はホラー系にはまっています。

司書資格を取ろうと思った理由を教えてください。

高校時代から本を読むことが好きだったので、司書資格を取得したいと思いました。将来は、高校の司書教諭になりたいと考えています。司書課程の講義では専門用語が多く、用語同士の相互関係が難しく理解するのに時間がかかります。専門知識を深く理解したいので、期末試験の結果がなるべく良い点数になるよう目指しています。

FOBULは、どのような活動をされていますか。

週に一度、附属図書館の中でボランティア活動をしています。附属図書館の司書の方と一緒に、本の配架や、学生に図書館の利用の仕方などを教えたりしています。現在は石垣祭(学園祭)で開催したい企画があるので、サークル内で話し合いを進めています。

読書会や「フォーブル新聞」の発行など 新しい活動に取り組んでいますね。

今年から先生がされていた読書会を引き継ぎました。課題図書を読んで、感想を述べて和やかな雰囲気の中で行っています。「フォーブル新聞」は現在No.2まで発行しています。記事は、部員が持ち回りで書いているので、それぞれの個性が出て、楽しめるものになっています。FOBULの活動内容をもっと知ってもらいたいので、継続して発行していきます。

将来の夢、今後の展望など。

FOBULが目指しているのは普通の司書ではなく、1つ光るところを持っている司書になることです。好きな作家や分野に特化できるよう、切磋琢磨していきます。日常生活の中で行動1つ1つに学べることを考えながら活動していきたいです。

クローズアップ

Closeup! 別大生

キラリと輝く別大生を
紹介します。

文学部

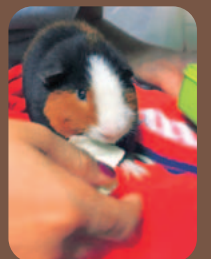
国際言語・文化学科 3年

佐藤 由貴

(大分県立大分西高校出身)



図書館内にあるフォーブルのスペースです。おすすめの本などを紹介しています



飼っているテディモルモットの久期(きゅうき)くんです。とってもキュート!



サークル

ソフトテニス部



伝統を引き継ぐ部旗

ソフトテニス部 主将
国際経営学部 国際経営学科2年
五十川 将大
(大分県立佐伯豊南高校出身)

学生たちのひとこと

私たちソフトテニス部は、男女合同で部員全体が仲良く、楽しく活動しています。ソフトテニスの大会などにも出ていて、試合に出るときは気持ちを切り換え本気で勝ちを取りに行く、メリハリのあるサークルです。初心者も大歓迎なので私たちと一緒にソフトテニスを楽しもう。



練習場が急に…

間近に迫った九州インカレに向けて練習に励むソフトテニス部取材のため市営テニス場を訪問しました。練習時間はコートの予約が取れた1時間だけ。部員は男子14人、女子7人の21人ですが、学生寮新設のため大学のテニスコートが使えず、週2日は明豊テニス場、土曜日は市営テニス場か明豊テニス場で練習をしています。市営テニス場は大学から離れており、取材日は男子7人、女子2人の9人が参加していました。やはり、練習場が定まらないと辛いようです。

でも、男子、女子が一緒に練習ができ、どんなに疲れていてもラケットを握り、練習に加われば、リフレッシュでき、息抜きにもなるそうです。

練習を見ていると1球に集中し、うまくいって得点できた時に自然とハイタッチ。和気あいあいとした雰囲気が漂っています。

練習終了間際に、「えー！あと1時間予約が取れた!? 練習、練習。前衛練習。急いでコートに集合!!」疲れ知らずの部員たちです。

別府大学&カゴメ「学校給食、うま塩」メニューコンテスト グランプリ受賞 三色そぼろ丼



Point

醤油の半分をケチャップにして、しいたけとトマトのうまみの相乗効果でおいしく減塩できました

材料(1人分)

食物栄養学科 2年 越智 紗耶香(大分県 大分東明高校出身)

とりそぼろ

鶏ひき肉 50g
しいたけ 中1枚
酒 小さじ1

しょうゆ 小さじ1/2
トマトケチャップ 小さじ2/3
砂糖 小さじ1

炒り卵

卵 1個
砂糖 大さじ1/2
ごま油 小さじ1/2

絹さや 5〜6さや

ごま油 小さじ1/2
塩 0.6g
ご飯 150g

サークル紹介

学部、学科を超えた絆は、人生の宝物

学生たちのひとこと

写真部の第一目標、それは楽しんで写真撮ること! スマートフォンのカメラや一眼レフで、「キャンパスライフの一場面」、「友人の笑顔」、「旅先の風景」、「おいしい料理」、「愛犬のベストショット」などを自由に撮影しています。自分の好きなものを好きにだけ、今日ものんびりシャッターを切っています。思い出をあたに残したい方、ぜひお気軽に話しかけてください!



一台一台、個性あるカメラ



写真部 部長
文学部 国際言語・文化学科3年
川野 今日子
(大分県立臼杵高校出身)

サークル

写真部

一人ひとりが違う、それが良い

写真部の活動は、ゆったりとした雰囲気の中ではじまっています。上下関係もなくフランクな関係。どうして集まって部活をするのか尋ねると、答えは「一人では難しいが、部員の作品を集めて、春季展・学園祭などで展示会ができるから」、「自分の作品を批評してくれるから」。

みんながみんな写真のプロを目指しているわけではありません。写真との出会いも様々。写真の中に物語を綴ったり、ケーキを美しく見せたり、表情が美しく撮れたりいろいろな

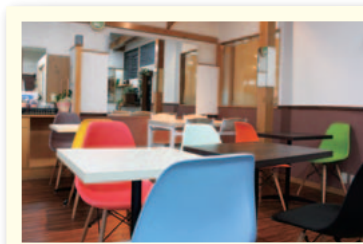
心象を写しだしています。

活動を通してこれまで、県美展(写真の部)に毎年入選、入賞しています。ボランティアとして、大分県内での「はいはいグランプリ」で赤ちゃんのかわいらしい写真を撮っています。

「校内の写真を撮りに行くよ」と、部長からの呼びかけに、部員はカメラを抱えてそれぞれに風景を切り取ります。同じ撮影場所でも、一人ひとりが違う視点で、素晴らしい世界を映し撮る。それが良い。

別大生の御用達

別大周辺のちょっといいお店



明るくポップな店内。テイクアウトもできます



スモークサーモン+アボカド560円(税別)



ローストチキン+エッグ630円(税別)

好きな具を選ぶ
サンドイッチ屋さん

今年5月、別府大学通りに、好きな具材を選べるオーダーサンドイッチのお店「Lucoco nico」がオープンしました。エッグ、ツナ、スモークサーモン、ハンバーグ、ローストチキンなど15種以上の具材から好きな具材を選び、オリジナルのサンドイッチを作ってもらえます。ガッツリ

食べたい時は、Lucocoミートや、ローストチキン、ハンバーグなどお肉系を挟んで。野菜やクリームチーズなどを選べば、サラダ感覚のサンドイッチに。ふわふわ生地がやわらかい食パンで挟んでおり、地元農家から届けられる野菜も新鮮です!!

「一つでお腹いっぱいになります。お友達と違うものを頼んでシェアして食べるのも楽しいですよ」と、店長の阿部さん。何にしようか…と迷ったら、阿部さんにオススメを聞いてみよう!

好きな具を選ぶ
サンドイッチ屋さん

Lucoco nico



Lucoco nico

(ルココ ニコ)
別府市上人南10組
TEL.0977-66-8828
■営業時間
9:00~17:30(不定休)
■Pあり



社会福祉法人 愛育福祉会 豊川こども園
栄養士・栄養教諭
小野 綾芽さん

平成25年別府大学短期大学部食物栄養科卒業
(大分県立中津商業高校出身)



食の大切さを伝え おいしい給食で子どもたちを元気に



楽しさがあふれる、小野さん手作りの食育教材

宇佐市の豊かな田園に囲まれた「豊川こども園」。約100名の元気な園児たちに、毎日おいしい給食を作っているのが、今回紹介する小野綾芽さんです。

小野さんは豊川こども園の栄養士として給食調理に携わっています。園では以前より乳幼児のきめ細やかな食事・食育活動など、栄養士を中心に行っていますが、昨年から食育推進に力を入れることになり、小野さんは栄養教諭(※)の免許を取得していることから、園児への食育教室も担当しています。料理を味わい、楽しく食事をすることや、野菜を栽培し収穫する喜びを体験すること、調理の面白さ、作ってくれる人への感謝の気持ちなど、食育教室を通じて、子どもたちに食の大切さを伝えています。

小野さんは、パティシエになることが夢でしたが、中学校の時職業体験で訪れた保育園の栄養士の先生に



箸は一生使うもの。子どものうちに正しい持ち方を身につけてほしいと、箸の持ち方指導

憧れ、給食の先生を目指して食物栄養科に入学しました。学生時代は、立松研究室の2代目育ドル娘の裏方として活躍。メンバーとともに食育ステージに取り組んだ経験が、今、食育教室に生かされています。

「子どもたちが食べる事を楽しんだり、好き嫌いがなくなったりするにはどうしたらよいかいつも考えています。食育教室を通じてさまざまな食材に親しんでもらいたいです」と、食育教室と給食を通じて、子どもたちの食への興味を高めています。

将来は、自身が栄養士の先生に憧れたように、園児から「給食の先生になりたい!」と言われるようになること。おいしい給食がこどもたちの未来に続くことを夢見て、調理室や教室で奮闘しています。

※栄養教諭：主に小・中学校で、子どもたちの食の指導や給食管理に携わります。平成17年4月より制度が開始。本学短期大学部食物栄養科では、栄養教諭一種免許状を取得することができます。

株式会社九州堂 代表取締役
後藤 虎南さん

平成21年文学部文化財学科(※現 史学・文化財学科)卒業
(大分県立鶴崎高校出身)



産地を訪ね、探し出した九州の “うまいもの”を東京で発信!!



お店の内装は、スタッフとペンキを塗ったり自分たちで手がけたそう

この7月、東京都文京区千駄木に九州の農産物や加工品を販売する「SHOP & CAFE九州堂」がオープンしました。有機栽培の大量産の露地かぼす、太陽をいっぱい浴びた熊本産のトマト、鮮やかな黄緑色に輝く佐賀産のアスパラなど、オーナーの後藤虎南さんが産地を訪ね、発掘した九州の宝物が並んでいます。

後藤さんは、大手グルメ情報サイト「ぐるなび」に勤務していた時に、総務省の若手企業人派遣事業の一環として、鹿児島県鹿屋市に向。市のPR活動に関わる中、農業や漁業、畜産の生産者と知り合いになりました。「地元大分のことしか知らなかったけれど、鹿屋市をはじめ九州の中にはいいものがたくさんあります。九州でがんばっている生産者を応援



恩師の飯沼賢司教授と。今後の夢の一つに、発掘された土器を見ながら食事ができる「考古カフェ」の構想もあるとか

したい」と、独立を決意し、平成28年4月に九州のアートナショップ「柿の木坂マルシェ(東京都目黒区)」を開店しました。九州の産地直送の野菜や加工品を販売する八百屋として話題になり、買い物に来てくれる常連さんが次第に増えていきました。

九州のおいしさに手ごたえを感じ、柿の木坂マルシェのオープンからわずか1年で事業を拡大。株式会社九州堂を立ち上げ、飲食スペースも設け「SHOP & CAFE九州堂」としてリニューアルオープンしました。「九州のおいしいものを発掘して、東京の人に伝えたい。商品をより厳選し、アートナショップからセレクトショップを目指していきたいです」と、意気込みを語ってくれました。後藤さんが出会ってきた生産者の「想い」を集め、九州の魅力を発信しています。

学園からのお知らせ

新学生寮が2月に完成予定



完成予想図

これまで、本学には、学内にフアンヴィレッジ寮、別府市浜脇に30号館の2つの学生寮を所有していましたが、より利便性と安全性を提供できるよう移転統合して、市内上平田に新学生寮(寮室100室)を建設中です。大学から徒歩3分ほどの好立地。ワンルームの個室タイプで、部屋にはユニットバスやシャワートイレが備えられ、インターネット環境も整っています。

食事は朝と夕の1日2食を提供しますが、個室にミニキッチンがついており自分で調理もできます。現在の寮生に加え、平成30年度新入生も受け入れをします。

防犯対策のセキュリティも万全で、自宅を離れて初めての一人暮らしを始める学生に、安心・安全な生活環境を提供し、有意義な学生生活が送れるように支援いたします。

学校法人別府大学 平成28年度事業報告

I 事業の概要

平成28年度は、学校法人別府大学第1期中計画の最終年度として、目指すべき将来像の実現に向け、財務基盤の強化と教育研究、キャリア支援の充実等に二層積極的に取り組みました。

①財務基盤の強化

第1期中期計画の主要数値目標の達成により、財政基盤を強固なものとすることができました。(次の「II財務の概要」に詳細な記述あり)

②補助事業の採択と施設・設備の充実
平成28年度は、「私立大学研究ブランディング事業」など大型補助事業が採択されたことにより、史学・文化財学科や食物栄養学科などに3Dスキャニングレーザーシステムほかの大型研究備品等が整備され、また新18号館「佐藤義詮記念館」が完成するなど教育環境の整備・改善が図られました。

③キャリア支援の充実

「就活準備フェア」の開催や「インターシップ科目」の開講等直接的な学生への指導のほか、キャリア支援センターにキャリアカウンセラーや

元民間企業の幹部社員を配置し就職相談体制を充実させることなどにより、過去5年間で最高の就職率を達成することができました。

II 財務の概要

平成28年度は、積極的な教育研究環境の整備を継続し、基本金組入前当年度収支差額の黒字を拡大させ、第1期中期計画の最終年度として掲げた主な財務比率目標を達成することができました。

「事業活動収支計算書」は、企業会計でいう損益計算書に相当するものです。当該会計年度の経常的および臨時的収支を区分して、それらのバランスを把握できるようにし、これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができま

平成28年度の経常収支差額は206百万円、特別収支差額は172百万円(主に耐震改築工事等の施設設備補助金収入)、基本金組入前当期収支差額は378百万円となり、前年度の372百万円に比べ、僅かによい数値となりました。

基本金組入前当期収支差額から基本金組入額合計412百万円を差し引くと、当年度収支差額は△34百万円となり、これに前年度繰

越収支差額210百万円と基本金取崩額235百万円を加えると、翌年度繰越収支差額は235百万円となりました。

主な財務比率を見ると、事業活動収支差額比率(基本金組入前当期収支差額÷事業活動収入計)は8.1%であり、中期計画に定めた目標値5.0%以上を達成できました。人件費比率(人件費÷事業活動収入計)は55.2%となり、中期計画の目標値である60.0%以下を達成できました。

III 収益事業の状況

国際交流会館及びゆふの丘プラザは、私立学校法第26条に基づき収益事業(請負業)です。これらの事業は、その収益を学校法人の教育研究活動に役立てることが目的です。平成28年度は、国際交流会館は前年度同様に高い入居率を維持することができましたが、ゆふの丘プラザは熊本・大分地震の影響で大幅な収入減となり、全体での当期純利益は△303千円で、前年度の2,506千円に比べ減少しました。

ゆふの丘プラザは、今後も収支の改善は見込めないと判断し、次期指定管理に応募せず平成28年度をもって運営を終了しました。

※詳細は別府大学ホームページをご覧ください。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	2,738	2,738	△1
	手数料	42	44	△2
	寄付金	8	7	0
	経常費等補助金	854	916	△62
	付随事業収入	425	438	△13
	雑収入	165	178	△12
	教育活動収入計	4,232	4,321	△89
	人件費(a)	2,592	2,583	9
	教育研究経費	1,247	1,192	55
支出	(内、減価償却額)	488	492	△4
	管理経費	422	418	4
	(内、減価償却額)	61	61	0
	徴収不能額等	6	7	△1
	教育活動支出計	4,266	4,200	66
	教育活動収支差額	△34	121	△155
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	80	85	5
	その他の教育活動外収入	8	9	△1
	教育外活動収入計	88	94	△7
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	7	9	△2
支出	教育外活動支出計	7	9	△2
	教育活動外収支差額	81	85	△4
経常収支差額		47	206	△159
特別収支	収入			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	242	261	△19
	特別収入計	242	261	△19
	資産処分差額	59	67	△8
	その他の特別支出	22	22	0
支出	特別支出計	81	89	△8
	特別収支差額	161	172	△11
予備費		10		10
基本金組入前当年度収支差額(b)		198	378	△180
基本金組入額合計		△365	△412	47
当年度収支差額		△168	△34	△133
前年度繰越収支差額		210	210	0
基本金取崩額		59	59	0
翌年度繰越収支差額		101	235	△133

(参考)			
事業活動収入計(c)	4,562	4,676	△114
事業活動支出計	4,364	4,298	66

(財務データ)			
事業活動収支差額比率(b)÷(c)			8.1%
人件費比率(a)÷(c)			55.2%

※中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

甲子園で明豊旋風!! 2度の奇跡を起こす

明豊高校野球部は、第99回全国高校野球選手権大分大会の決勝で大分商業高校に完勝し、2年ぶり6度目の甲子園出場を勝ち取りました。

甲子園では、2回戦坂井高校(福井県)と対戦し、先行しては追い付かれ終盤に逆転を許す展開を逆転本塁打で7対6と制しました。3回戦は神村学園(鹿児島県)との九州同士の対決となり、延長12回に3点差を2死か

明星小全校児童の美しい歌声がビーコンプラザに響く!

7月2日、ビーコンプラザで開催された「大分青年会議所50周年記念式典」のフィナーレで、明星小学校の子どもたちの全校合唱を披露しました。

本番に向けて全校児童が一つになり、きれいなハーモニーをつくろうと一生けん命に練習を重ねてまいりました。最後の仕上げには、上村校長先生が全校児童の

大分便スクールバス運行スタート

平成29年4月より、大分方面から通学している明星小、明豊中・高校の児童・生徒を対象に、大分駅発着で西大分を経由して明豊キャンパスを結ぶスクールバスの運行を開始しました。

毎日、朝夕一便ずつで、小学生、中・高校生が一緒に通学し

ています。これまで、大分方面から通学する場合は、電車で別府駅に到着し、それからバスや徒歩で明豊キャンパスまで通学していましたが、スクールバスでは直接明豊キャンパスに到着することができるようになりました。

別府大学教育研究振興資金の募金について

別府大学教育研究振興資金にご寄付いただきました方々に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込めて、ここに「芳名」を掲載させていただきます。なお、「芳名」の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

【平成28年度】	平成28年4月1日〜平成29年3月31日まで
池田 宏聡様	高田 真実様
榎田 保代様	廣田 貴光様
長野 美華様	黒田 弘吉様
佐々木元啓様	黒木 智春様
森 史樹様	吉野 順誠様
小手川清水様	桑原 雅臣様
工藤 誠治様	五十川金太郎様
穴井 朱夏様	大曲 博司様
松井 賢一様	都甲 大祐様
株式会社丹青社様	

【平成29年度】	平成29年4月1日〜平成29年7月31日まで
石川 芳恵様	日野 孝介様
宮西 賢徳様	耕田 敏敬様
佐藤 典昭様	清水 維子様
山本 公昭様	後藤 秀文様
井原 令恵様	戸上 誠様
橋元 佑介様	有井 千花様
深町 圭様	小嶋 和博様
安東 章様	竹中 昌子様
赤木 孝司様	神田 好真様
柴田 淳様	姫野 祥子様
矢守加津代様	向井 正樹様
小田 陽美様	宇都宮直人様
児玉あり様	溝部 京子様
見久野真紀様	植田美佐子様
大地 幸枝様	小西 優子様
安倍 達雄様	酒井 進吾様
澤田 紗歩様	河野 裕子様
太田 光彦様	星野 恵理様
杉崎 由佳様	二宮美智子様
土谷 友枝様	山上 敏秋様
丸尾 尚史様	多恵馬 九一様
平尾 裕南様	道下 優一様
穴井 裕成様	武功 樗様
富成 奈央様	首藤 武功様
芦刈 清隆様	仲森 秀二様
下郡 俊昭様	荒牧 武史様
岩尾 葉子様	アヲ久様
関本 晃行様	吉岡 庸博様
西本 隆秀様	雅史 様
倉田 孝介様	河辺 大輔様
近藤 友美様	木村 真二様
白津 敬一様	内村 清彦様
小野 善一様	齊藤 吾様
星野 雅之様	矢野 孝裕様
脇田 久生様	中島 芳和様
富高 秀一様	高橋 崇様
重石 孝一様	前田 明様
佐藤 延弘様	岐部 進一様
庄司 忍様	野中くみ様
林 淳一郎様	近藤 友美様
松山 和弘様	小野 善一様
木平 博基様	白津 敬一様
大下オトリ様	小嶋 和博様
永尾 美穂様	中島 芳和様

(順不同、本学関係者を除く)



国際言語・文化学科に「芸術表現コース」を新設します

平成30年度より、文学部 国際言語・文化学科の3コース（「国際文化コース」、「マンガ・アニメーションコース」、「絵画&デザインコース」）を統合し、「芸術表現コース」を新設します。

「芸術表現コース」は、芸術を『創る・知る・考える』教育で、自己プロデュース力（芸術のスキルと教養によって自分を表現する力）を身につけ、マンガ、映像・アニメーション、デザイン、絵画、美術史、言語表現の専門家を目指す人にももちろん、芸術に関心を持ち社会で活躍する人材を育てます。

お問い合わせ
入試広報課
TEL.0977-66-9666

特別講演「温泉と文学」を開催しました

昨年1月に開催された「温泉を読む×温泉を書く」に続く、文学への誘いシリーズ第2弾として、2月26日に芥川賞作家の玄月氏、吉村萬吉氏、藤野可織氏を本学にお招きし、特別講演「温泉と文学」を開催しました。芥川賞作家三氏が「温泉で読みたい本」をテーマにした話などに、約200名の市民や文学ファンが訪れました。



短期大学部に初の女性学長が誕生しました

本年4月から、本学短期大学部の学長に、仲嶺まり子教授が就任しました。同短大の学長で初の女性学長となります。仲嶺学長は、「学生の教養、専門性、実践力の3つを踏まえた教育を行いたい。地域連携や学生主体の研究会活動を通し、現場の声を反映させた人材育成や学生支援を行っていく」と語りました。



女子柔道部が学生柔道優勝大会で大活躍！

女子柔道部が5月27日・28日にかけて行われた「平成29年度九州学生柔道優勝大会」に出場し、女子3人制で優勝しました。この結果は、20年ぶり2回目の快挙となります。この優勝を受け、6月23日から25日に開催された「平成29年度全日本学生柔道優勝大会」に出場し、ベスト8入りを果たしました。



サフラン商品開発を竹田市に報告しました

7月初め、本学発酵食品学科の米元俊一教授や大分県農業文化公園の園長らが、昨年本学と（社）大分農業農村振興公社にて締結された「ハーブ六次産業化プロジェクト協定」の一環として、研究開発に必要なサフランを提供した竹田市役所を訪れました。1年間の研究成果を報告し、今後の研究方針を説明しました。



Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
TEL : 0977-66-6262
E-mail : koho@nm.beppu-u.ac.jp

広報を担当してまだ半年。大学の広報はなかなか難しい。というのは、伝えるべき大学のコンテンツが難しいから。「活動」は目に見えるので、広報しやすいが、多様な「教育」、多岐にわたる「研究」を全体として理解することはほぼ不可能に近い。大学という、建物と多くの学生を一般的にイメージするが、その本質は「研究」と「教育」である。従って、広報室はこの難問に取り組もうとしている。皆様方の一層のご協力をお願いしたい。(し)

編集後記

国際交流



「第46回別府大学国際セミナー」を振り返って



国際経営学科の学生と交流

生花体験

第46回別府大学国際セミナーが7月19日から8月5日に行われ、今年は韓国・台湾・中国などの協定校から、103名のセミナー生が集まりました。鉄輪周辺の旅館やホテルに宿泊しながら、午前中は別科日本語課程でレベル別の日本語の授業を受け、午後は別府校舎や近隣レジャー施設で楽しい体験学習をしました。

セミナー生たちは、国籍も年齢もさまざまな人との共同生活をしなければなりません。また、暑い中の徒歩での通学など、楽しいことばかりではなかったはず。しかし閉講式では、実りの多い印象的な日々であったという感想が多く聞かれました。日本文化体験や大学・短大・明豊高校の学生達との交流会はもちろんのこと、「電話で日本人と話す」「道で日本人に話しかける」などの実践的な日本語の授業もユニークだと好評でした。

国際セミナーで出会った友人を訪ねて台湾へ

報告：発酵食品学科 2年 河野 共喜



クラスの先生や友達と

2016年7月の発酵食品製造実習で、国際セミナーで来日した学生と一緒に、チーズ作り体験を行ったことが、国境を越えた出会いのきっかけだ。

台湾の友達に会いたく、また英語を学びたくて今年の3月8日から14日にかけて、別府大学の提携校である台湾の徳霖科技大学へ渡った。授業は応用英語学科で学び、Writing/Listening/Presenting Classに分かれて聴講した。Writingでは受け身の文法を復習し、Listeningでは好きな科目・仕事について学んだ。また、Presentingでは台湾のレストランの紹介を互いに行う授業だった。台湾語で理解が難しい場面もあったが、分からない箇所は英語で質問して自らの力にした。

週末には台北101や九份、国立故宫博物館に案内してもらい、魯肉飯や牛肉麵、豆花など料理も堪能。何よりも「英語で聞き・話す」ことが一番の刺激となった。国際セミナーで出会った友人とも会い、原味鶏や韓式部隊鍋の料理を教えてもらった。最終日には、応用英語学科リーダーの学生12人とともに士林夜市へ足を運び、様々なグルメと出合った。

しかし自己紹介で専攻を説明する際、fermented foodについて上手に伝わらない場面が幾度もあって悔しかった。スピーキング力を向上させて、自分の気持ちを心から伝え、楽しく会話したい想いが芽生えた。

そして私はもっと語学力を磨きたく、この夏アメリカへ行くことを決意した。



修了証と記念品